

| 会 議 録 |                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会 議 名 | 令和7年度 第1回 丸亀市未来を築く地域戦略会議                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 開催日時  | 令和7年8月7日（木）13：00～14:40                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 開催場所  | 丸亀市役所4階特別会議室                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 出席者   | <div>出席委員</div> 西成 典久、高畑 響子、荒川 和哲、相原 しのぶ、佐久間 知恵<br>西川 真智子、高木 明美、梶谷 孝啓、井上 達也<br><div>欠席委員</div> 岩倉 洋平、中村 優、高木 和代、内海 珠美、池内 丈史、三谷 幸代<br>秦 佳子、直井 馨子、向井 将寅<br><div>事務局</div> 市長公室長 栗山 佳子<br>（政策課）課長 真鍋 裕章、副課長 藤井 慶子、主査 大川 智<br>協働推進部<br>（地域づくり課）離島振興室長 長樂 史子<br>教育部<br>（文化財保存活用課）丸亀城管理室長 大林 隆之 |
| 議事    | 1. デジタル田園都市国家構想交付金事業について<br>2. 第2期丸亀市未来を築く総合戦略アクションプランの進行管理について<br>3. その他                                                                                                                                                                                                                 |
| 傍聴者   | 0名                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 発言者   | 議事の概要及び発言の要旨                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 真鍋課長  | ただ今より、令和7年度第1回丸亀市未来を築く地域戦略会議を開会します。議事に入る前に、本日の資料を確認します。<br>それでは、丸亀市附属機関設置条例第7条に基づき、会長に議長をお願いします。                                                                                                                                                                                          |
| 西成会長  | それでは、会議を進めさせていただきます。本日の会議ですが、委員総数 18 名中 9 名の出席であり、丸亀市附属機関設置条例の規定により会議は有効に成立していることをご報告させていただきます。<br>本日の議事は、<br>（1）デジタル田園都市国家構想交付金事業について<br>（2）第2期丸亀市未来を築く総合戦略アクションプランの進行管理について<br>（3）その他<br>の3件です。まず、「（1）デジタル田園都市国家構想交付金事業について」事務局より説明をお願いします。                                             |
| 大川    | <資料に基づき説明>                                                                                                                                                                                                                                                                                |

|       |                                                                                                                                                                                                                            |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 西成会長  | 宿泊組数が少ない点について対策を検討していますか。                                                                                                                                                                                                  |
| 大林室長  | <p>担当課である文化財保存活用課や産業観光課、さらには丸亀城の天守や城泊事業などの指定管理を担っている一般財団法人丸亀市観光協会などの関係者が集う城泊会議を月1で開催し、対策を協議しています。</p> <p>宿泊組数が少ない要因としては、ターゲットとしているインバウンドへの情報発信が不十分であることと考えており、大阪・関西万博でのPRやインバウンド向け観光サイトへの掲載、台湾での商談会への参加などに注力しているところです。</p> |
| 相原委員  | 他の会議で1人当たりの滞在消費額を伸ばす取組の一つとして、本島の笠島まち並み保存地区を整備すると聞きました。丸亀城下の整備が終わっていないにも関わらず、本島の整備に着手することに違和感を覚えますが、整備に至った考え方を教えてください。                                                                                                      |
| 大林室長  | 最終的には本島に来ていただきたいという思いから本島の整備も考えているというものです。一方、城下においても、古民家を宿泊施設にできるかなど検討を重ねていますが、実現までには至っていない状況です。                                                                                                                           |
| 梶谷委員  | 城泊の宿泊料は非常に高額です。KPIの達成に向けては、料金の減額などの対応が必要ではないでしょうか。                                                                                                                                                                         |
| 大林室長  | 大洲市や福山市においても城泊事業を実施していますが、両自治体に比べ料金は安価に設定しています。事業開始からまだ1年余りですので、料金を下げるのではなく、先ほど申し上げた情報発信に注力していきたいと考えています。                                                                                                                  |
| 佐久間委員 | 以前の会議で宿泊に関する問合せはあると報告がありましたが、宿泊までに結びつかなかった理由は何ですか。                                                                                                                                                                         |
| 大林室長  | 宿泊料金など城泊のことを十分に知らないまま問い合わせるケースがありました。また、宿泊料が高額であることを踏まえると頻繁に予約が入るものではないとも考えています。                                                                                                                                           |
| 高畑委員  | テレビで大洲市の城泊利用者の感想が紹介されており、市全体で迎え入れられたことが一番うれしかったとのことでした。丸亀市も受入体制の充実が必要ではないかと思います。                                                                                                                                           |
| 大林室長  | いただいたご意見を城泊会議で共有し、検討していきたいと思います。                                                                                                                                                                                           |
| 西成会長  | 令和5年に本島への移住者が13人とありますが、近年の社会増減は分かりますか。                                                                                                                                                                                     |

|       |                                                                                                                                                                                                                      |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 長樂室長  | <p>まず、KPI の移住者 13 人は、離島空き家リフォーム補助金を活用された方で、住民基本台帳上の転出入の数値とは異なりますが、現在も全員住み続けています。</p> <p>住民基本台帳上の数値は、離島航路運賃 2 割補助を行う際にお渡しする島民カードの配布等により把握をしておりますが、こういった経緯で転入されたかまでは分からない状況です。いずれにしても、本島に限らずすべての離島において人口減少が進んでいます。</p> |
| 梶谷委員  | K P I の移住者数は、実際の転入者数とは異なるということですか。                                                                                                                                                                                   |
| 長樂室長  | 離島振興室としては、離島空き家リフォーム補助金を活用された方を移住者としてカウントしています。                                                                                                                                                                      |
| 西成会長  | 次に、「(2)第 2 期丸亀市未来を築く総合戦略アクションプランの進行管理について」事務局より説明をお願いします。なお、アクションプランはかなりのボリュームであるため、基本目標ごとに進めていきたいと思いますので、よろしくお願いします。                                                                                                |
| 大川    | <資料に基づき、人口の推移、基本目標 1 について説明>                                                                                                                                                                                         |
| 西成会長  | 令和 5 年の出生数の激減は、危機感を持って取り組むべき課題であるので、市職員はもとより、市民の意識を変えるためにも、例えば市役所の玄関ロビーに結果を張り出すなど、見える化していくべきだと思います。                                                                                                                  |
| 梶谷委員  | 評価をするにあたっては担当課の主観とありますが、目標値に対して実績値が未達の場合は、D 評価以下にすべきだと思います。                                                                                                                                                          |
| 大川    | 担当課によっては、定量的な数値だけではなく定性的なものを含め、評価をしていると理解しています。成果指標の置き方は、統合していく総合計画の指標で精査していきたいと考えています。                                                                                                                              |
| 梶谷委員  | 事業を実施している担当課が評価することに違和感を覚えます。                                                                                                                                                                                        |
| 大川    | 市民が満足しているかが本質だと思いますので、その満足度などを指標として見える化していきたいと考えています。                                                                                                                                                                |
| 梶谷委員  | C 評価にしたい気持ちは分かりますが、未達であった場合の評価は D に修正を促すなど、政策部局として指導していくようなガバナンスを発揮すべきだと考えます。                                                                                                                                        |
| 佐久間委員 | 目標値をすでに達成した KPI は、上方修正をしていくべきだと思います。その方が担当課としてもモチベーションが上がっていくのではないのでしょうか。                                                                                                                                            |

|      |                                                                                                                                                                                                                                                               |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 大川   | ご意見のとおり、目標値を達成したK P Iは上方修正すべきであり、担当課に向けても指導しているところです。                                                                                                                                                                                                         |
| 西川委員 | 待機児童の解消において、0歳児保育を行う保育施設が不足しているとの声を聞きます。受入体制の拡充をぜひお願いしたいです。                                                                                                                                                                                                   |
| 大川   | 保育ニーズに応えられるよう努めていきます。なお、待機児童数には、自身の都合で入所しない児童は含まれていません。                                                                                                                                                                                                       |
| 荒川委員 | 2人目を保育施設に預けるときに、1人目と同じ施設に入れず、育児休暇を延長した事例を聞きました。こうした実態を解消できるよう努めていただきたいです。                                                                                                                                                                                     |
| 大川   | 私もそうした事例をお聞きしたことがあり、何とかしたい気持ちはあります。                                                                                                                                                                                                                           |
| 高木委員 | <p>令和7年度からこども家庭センターが新しく始まったことから、K P Iのまる育サポート相談対応件数は見直しが必要であり、これからは利用した市民がどう感じたかが分かるような指標にすべきだと思います。</p> <p>また、私的理由で待機児童となる件数は実績値に含まれていないと言っていました。それでは真に保育ニーズを十分に把握できていないと思います。これから保育施設に入ることが増加していくことを踏まえると、保育士の採用人数の確保や子育て家庭に対する重点的な支援が非常に重要になってくると思います。</p> |
| 大川   | <p>成果指標については、見直していきます。</p> <p>また、私的待機児童を含めると十分に保育ニーズに添えていない部分もあるかと思いますが、保育所・幼稚園の統合といったハード面のほか、保育士を目指す人を少しでも増やすための保育士バスツアーなどを総合的に取り組むことにより、待機児童の解消や保育ニーズの充足に引き続きつなげていきたいと考えています。</p>                                                                           |
| 西成会長 | 次に、基本目標2について、説明をお願いします。                                                                                                                                                                                                                                       |
| 大川   | <資料に基づき、基本目標2について説明>                                                                                                                                                                                                                                          |
| 梶谷委員 | 香川県下において、丸亀市が社会増の傾向にあることは良いことですが、その理由を分析し施策に反映していくことが重要です。                                                                                                                                                                                                    |
| 大川   | 政策課で所管している移住施策の話にはなりますが、転入者アンケートや県外での移住フェアなど様々なご意見をもとに、施策の検討を行っています。引き続き、制度設計の際には、十分に分析などを行っています。                                                                                                                                                             |

|      |                                                                                                                                                                                   |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 西成会長 | 丸亀市内の企業に就職した人数は把握していますか。                                                                                                                                                          |
| 大川   | 商工会議所では持っているかもしれませんが、市では把握していないと思います。                                                                                                                                             |
| 西成会長 | どのような属性の人が市内企業に就職しているのか把握することで対策を打ちやすいかもしれません。                                                                                                                                    |
| 梶谷委員 | 高松市や坂出市に比べて夜間や休日の医療体制が不十分と考えます。丸亀市に転入する際の決め手として、医療体制も絡んでくると思いますので、労災病院等の医療機関との連携を強化していただきたいと思います。                                                                                 |
| 西成会長 | 次に、基本目標３について、説明をお願いします。                                                                                                                                                           |
| 大川   | <資料に基づき、基本目標３について説明>                                                                                                                                                              |
| 西成会長 | 市民会館を含む大手町地区４街区の再編整備は、総合戦略に掲載されていますか。                                                                                                                                             |
| 大川   | 計画の策定作業をしていたのが令和元年度ですので、掲載されていません。                                                                                                                                                |
| 梶谷委員 | スポーツ合宿の実施日数を増やすためには、ホテル側からもＰＲしていただく必要があります。                                                                                                                                       |
| 相原委員 | D評価以下の取組をまとめていただいた経緯というのは、D評価となった対策を明確に示して欲しいことを伝えた結果だと思っています。しかしながら、計画期間中の５年間で振り返ると前年D評価であったにも関わらず翌年度の取組が前年と同様となっている取組が散見されます。担当課も悪い評価だったことを真摯に受け止め、改善することを意識して取り組んでいただければと思います。 |
| 大川   | ご意見のとおり、前年と同じことをやるのは取組を進めるにあたりあってはならないことと思います。担当課として改善する意識をもって取り組んでいただけるよう政策部局として努めていきます。                                                                                         |
| 井上委員 | ふるさと納税の寄附件数をKPIにしていますが、納税金額にするのが適切ではないでしょうか。県内他自治体と丸亀市を比較すると、金額が下位になっています。                                                                                                        |
| 大川   | ご指摘のとおり納税金額がKPIに相応しいと考えています。                                                                                                                                                      |
| 西成会長 | 本審議会ではガバナンスが効いていない指摘があったことを市の課題として受け止め、本質的に生かすための手法などを検討していただきたいです。                                                                                                               |

|      |                                                                                                                                                     |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 梶谷委員 | 担当課がK P I に対して責任を持つようガバナンスを効かせてシビアに評価していただくよう努めてください。                                                                                               |
| 井上委員 | シビアに評価しようとする、あえて目標値を達成可能な数値に設定するなどの動きが出てくることも想定されます。政策と財政部局が連携し、みんなが納得できるような指標の設定が必要ではないかと思います。                                                     |
| 大川   | 成果指標の置き方については、様々な審議会でご指摘を受けているところで、新しい総合計画においてお示ししていきたいと考えています。                                                                                     |
| 西成会長 | 最後に、基本目標 4 について、説明をお願いします。                                                                                                                          |
| 大川   | <資料に基づき、基本目標 4 について説明>                                                                                                                              |
| 西成会長 | 全体の話として、人口減少対策を考えていくにあたっては、瀬戸内中讃定住自立圏の役割が非常に重要になってくると考えられ、丸亀市が中心的な役割を担いながら広い意味での魅力づくりを進めていかなければなりません。その際には、民間企業や大学も含めスクラムを組んで社会課題解決に取り組んでいく必要があります。 |
| 高木委員 | 学校が楽しいと感じる児童生徒の割合をK P I にしていますが、楽しくないと答えたこどもの理由や不登校対策について教えてください。                                                                                   |
| 大川   | アンケートの中身、特に不登校対策はセンシティブな内容で数なども未公表ですので詳しくは分かりかねますが、授業改善に向けてはG I G Aスクール構想に基づき、個別最適な学習を目指して取り組んでいます。                                                 |
| 井上委員 | 水道企業団と連携しながら水道管の点検・整備の加速化をお願いします。                                                                                                                   |
| 西成会長 | 他にご意見もないようですので、最後に議事の「(3) その他」について事務局より何かありますか。                                                                                                     |
| 真鍋課長 | <任期満了に伴う御礼>                                                                                                                                         |
| 西成会長 | 他にないようですので、本日の会議を終了します。                                                                                                                             |

(会議終了)